

このコーナーは、市内の協働の取り組みや話題・活動などを紹介します。



# むらかみの話題

## おすもうさんってチョー強いんだね

1月30日(金) 村上幼稚園



村上市出身の力士、鬨林山関<sup>とまりんざん</sup>が村上幼稚園を訪れ、運動マットでつくられた特設土俵で、園児たちとすもうをしました。1対1、1対2、1対大勢…と徐々に人数が増えていき、応援する園児たちの「がんばれー！」の声に押されて、鬨林山関が寄り切られる場面も。園児たちは、本物のおすもうさんと触れ合う、楽しい時間を過ごしました。

## 地域を災害から守る取り組みを学ぶ

1月24日(土) 神林農村環境改善センター



地域の自主防災力を高めるためのセミナーが行われ、神林地区の区長・自主防災組織の役員など約60人が参加しました。市町村災害対応支援アドバイザーによる地域の防災・減災活動の講演の後、参加者で自主防災について話し合う演習を行い、自主防災組織の強化につなげました。



1月23日(金) 牧目集落  
通学の安全を支える信号機が設置

市道桃川牧目線の牧目交差点に信号機が設置され、点灯式が行われました。高速道路のICができたことで、交通量が増えていた交差点も安全に渡れるようになり、地元の皆さんの喜びもひとしお。点灯式の後、渡り初めを行い、交通事故撲滅の誓いを新たにしました。

## 白銀の世界を駆け抜け「名水」へ

2月1日(日) 大毎集落



雪山に湧き出る名水「鱒山清水」の水汲みツアーが開催され、県内外から30人が参加しました。ふもとの雪原でスノーモービルの試乗を楽しんだ後、集落から6キロメートル離れた鱒山清水までスノーモービルで風を切って疾走し、雪下から湧き出る清水を汲み思い思いに堪能しました。

## 大活躍の1年！荒川卓球少年団

2月6日(金) 荒川地区スポーツ少年団



平成26年度荒川地区スポーツ少年団表彰式が開催され、県大会で優勝するなどの好成績を収めた荒川卓球少年団（中学生男子・女子）と同クラブ石山慎さん、齊田涼花さんが表彰されました。石山慎さんは「表彰を受けることができたのは、指導者や家族、友人の存在があったから。感謝の気持ちを忘れずに、今後もスポーツに励んでいきたい！」と謝辞を述べました。

## 寒い冬もバレーであったかいんだからあ♪

2月15日(日) 朝日総合体育館



第37回如月カップ（9人制バレーボール大会）が開催され、朝日地区の17チーム約200人が参加しました。レベルに応じた3つのクラスに分かれて行われ、熱戦が繰り広げられました。勝敗もさることながら、親睦が1番の目的。試合の合間にはジャンケン大会が行われたり、温かいスープが振る舞われるなど参加者たちは冬の休日を満喫しました。

ウェブで検索してみてね。



## 自分の中の退治したい鬼は

2月3日(火) 若林家住宅



市内の小学校3年生以下を対象に「子ども豆まき大会」が行われました。「おこりんぼう鬼」、「ねぼすけ鬼」や「くいしんぼう鬼」など自分の退治したい鬼の面をつけて豆まきを待つ子どもたち。若林家の家紋のついた羽織袴を着た3人の子どもたちが、「福は内、鬼は外」と大きな掛け声で豆をまきました。

## 除雪ボランティアで地域に貢献

2月8日(日) 塩野町集落



集落の公民館員で構成された30代～60代の男女12人が、高齢者宅2軒の玄関先や車庫前の除排雪作業ボランティアを行いました。作業の合間には、訪問したお家の人に、日ごろの生活面で苦労している事を伺うなど心のケアを行う姿も見られました。